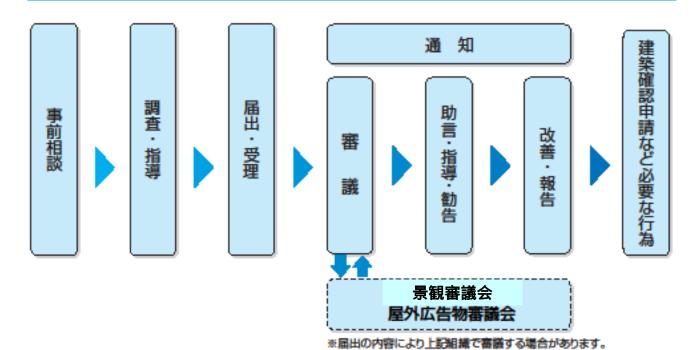
届出の流れ



行為の届出に必要な書類一覧

必要書類	位置図	平面図	配業局	施岡	着色した 立面図	色見本等	植栽 計画図	現況写真
建築物等の新・増・改・移転、外観を変更すること となる修繕若しくは模様替又は色彩の変更	0	0	0	0	(SMI NT)	0	0	0
広告物等の設置やその内容の変更(色彩の変更を含む)	0	(象匠詞)	0		0	0		0
土地の形質の変更 (宅地の造成等)	0	0		0			0	0
木竹の伐採	0	0		0				0
物件のたい積	0		0	0				0

助成制度

対象事業	補助率	限度額
セットバック部分の高木を含む緑化	70%	30万円
屋外広告物の搬去(屋外広告物書議会が要請したもの)	90%	100万円

◎沿道景観形成条例についてのご相談・お問い合わせは下記までご連絡下さい。

金沢市景観政策課

TEL:076-220-2364

FAX:076-224-5046

E-mail: keikan@city.kanazawa.lg.jp 〒920-8577 金沢市広坂1-1-1

ホームページ: http://www4.city.kanazawa.lg.jp/29020/keikan/index.jsp

沿道景観形成条例

魅力ある美しい沿道景観の形成 ガイドライン

~西インター大通り区域~



金沢市では、豊かな自然や歴史的な街並みが保全され、又は新しい都市空間が創出される周辺の環境 と一体となった、市民が親しみ、誇ることができる美しい沿道景観の形成を図り、もって地域の魅力の向 上と人々の交流の促進に資することを目的に、「金沢市における美しい沿道景観の形成に関する条例」に 基づき、①沿道景観形成区域を指定し、②沿道景観形成基準を定めることとしています。

この沿道景観形成基準は、沿道に生活するみんなでつくるまちづくりのルールであり、みんなで守り、 育て、そして実現していくものです。

> 西インター大通り景観形成協議会 金沢市

西インター大通り区域における沿道景観形成基準は以下の通りです。(抜粋)

■景観形成基本方針

沿道としての調和と統一感に配慮しながら、来訪者へのもてなしを演出し、金沢の顔となる 風格ある沿道景観を創出する。

区間	I 区間 (野町広小路~白菊町交差点)			Ⅲ区間 (白菊町交差点~増泉交差点)	Ⅲ区間 (増泉交差点~伏見大橋)	IV区間 (伏見大橋~松島北交差点)		
方針	● 金沢の歴史と文化を背景とした。 感じさせる景観づくり				● 沿道景観の連続性や四季の移ろいを感じさせる魅力的な景観づくり	● 中心市街地の歴史性と の対比を演出する近代 的で風格ある景観づくり		
	建築物・工作物	形態·意匠	 上部の形態を整えるなど、すっきりとした沿道景観を創出する。 主要な交差点に面する建築物等は、沿道に変化を与える特徴ある景観づくりに配慮し、壁面の意匠等の工夫に努める。 ※⟨Ⅰ、Ⅱ区間⟩において歴史的な街並みに隣接する沿道については、勾配屋根や伝統的意匠の採用などに努める。 					
		高さ	● 沿道の街並みとの調和や連続性に配慮する。					
		壁面等の位置	● 西インター大 については、 後退するよう	通り沿道に面する壁面等 道路境界線から1m以上 努める。	● 西インター大通り沿道に面する壁面等については、原則として、道路境界線から1m以上後退する。 ※〈Ⅳ区間〉における商業業務施設(敷地面積が1,000㎡ 以上)については2m以上とする。			
		色彩	色 					
		その他		え方に配慮し、敷地境界 や植栽を設置するよう努	付近でのコンクリートブロ める。	ック塀等の設置は避け、		
	一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一		(1)屋上広告	すっきりとした沿道景	観を創出するため禁止とする	3.		
景観形成基準			(2)独立広告		必要最小限の駐車場誘導広告等は除く) し、1基で1面5㎡(両面で10㎡)以下、1敷地あたり ける。			
成基			(3)自家広告以外	誘導を目的とするもの	に限る。(1敷地に1基まで	、上端高さ4m以下)		
準		(4) その他 蛍光塗料、赤・黄色等 (電光表示板・大型LE			原色のみの面的使用、点滅照明、可変表示広告 D等)は禁止とする。			
		※商業業務施設(敷地面積が1,000㎡以上)については、沿道景観に支障がない範囲内において金沢市屋外広告物条例の基準まで緩和することができる。						
	みどり	り (日本ののでは、) (日本のでは、) (日本のでは						
	駐車場	● 周辺からの見え方に配慮し、道路境界付近の花木や中高木の植栽、外周の生垣緑化・路面緑化等に 努める。						
	 ◆土地の形質の変更を行う場合には、周辺環境との調和に配慮する。 ◆物件のたい積を行う場合には、敷地内の適切な維持管理を行い、敷地周囲の緑化等による目隠し修景に努める。 ◆屋外に設備機器を設置する場合は、道路から直接見えないように努める。 ●道路占用物の形態・意匠及び色彩は華美でなく洗練されたものとなるよう努める。 							

西インター大通り区域 沿道景観形成区域 [都市計画道路線端より40mのエリア]

